市 内教員 の指導 向 に 向 け

指定研究員研究発表大会より~

【教育総合センター】

教員の資質の向上を図る取組 を対象に指定研究員を募り、 内幼稚園、小・中学校の先生 を進めています。 教育総合センターでは、市

生が、1年間の取組の成果を 発表しました。 今年も1月26日に4人の先

して、 りの実践等を紹介しました。 使ったチョウの成長やお米作 放送番組、インターネットを 究発表しました。写真や図鑑 の環境構成や援助について研 は、教育メディアの活用を通 井戸堂幼稚園の東泰代先生 生き生きと活動するため 幼児が興味・関心を広

用能力を高めようとする研究 導入の利点について広め、活 や職員研修を通して、 力の向上に向けて、 前栽小学校の田原聡志先生 教職員のICT活用指導 環境整備 I C T

> 指導やゲームなどの小集団指 るための支援の在り方につい えを言葉で伝え合う力をつけ の活用例の紹介がありました。 ジの更新や委員会活動などで て研究発表しました。個別の 発表をしました。ホームペー 柳本小学校の田中音栄先生 児童が自分の気持ちや考

高まりについて考察した研究 ベ学習」に対する学習意欲の の方法を提示し、生徒の「調 いろなパターンの 元の導入部分で、生徒にいろ 理科の授業において、特に単 発表をしました。 西中学校の藪内正克先生は 「調べ学習」

ネルディスカッションを行い して一」というテーマで、パ (園) -日々の保育・教育活動を通 また、 で育みたい子どもの力 後半には 「今、学校

①地域や保護者との連携した ョンでは、これからの教育は ることができました。 育み 今回のパネルディスカッシ

ました。参加者からも意見を

いただきながら、

討論を進め

101.

約24%が「骨折・転倒」でし と、寝たきりになった理由の 京都社会福祉基礎調査による の骨折です。平成17年度の

骨粗しょう症と診断されて 薬の服用と、運動や食事

③「教員の指導力」の向上 なりました。 ②系統・体系立てた指導計 重要であるというまとめに

内の教員に広め、日々の教育 うした研究や実践の成果を市 上を図っています。 ・保育活動の改善や資質の向 教育総合センターでは、こ

ています。 創造に努めていきたいと考え 学ぶ喜びを実感できる教育の たちがたくましく生き生きと、 度を充実させ、 今後も、この指定研究員制 天理の子ども

> 1, います。

増加し、その患者数は現在約 粗しょう症の患者さんは年々

安全に検査できます。

れも苦痛を伴わず、

短時間で

高齢化に伴い、

日

本人の

骨

ろな種類がありますが、いず 機器には目的に応じていろい 度測定とも言われます。

導の実践の紹介がありました。



険性が高まります。

指定研究員の先生が 研究の成果を発表

きいき 家族の健康カ カルテ

症治療 う ょ ツ続け まし

【奈良県医師会】

特に閉経後の女性は、原則と

折を予防することが重要です。

定するとよいでしょう。骨密

測定

して1年に1回は骨の量を測

う早い段階で治療を行い、骨 で骨の量の減少が進まないよ

も患者さんに自覚症状が少な い衝撃でも骨折してしまう危 の量が減少し、転倒などの軽 いため、気づかないうちに骨 骨粗しょう症になっていて 280万人と推測されて しかし、そのうち治 20 をやめると骨の量は再び低下 まいます。文字どおり治療を て骨の量は改善されても、薬 てしまう例が少なくありませ めても患者さんが勝手にやめ して、骨折しやすくなってし ん。薬を服用することによっ 「コツコツ」続けることが重 骨粗しょう症は、治療を始

%程度と言われています。

療を受けている患者さんは



る症状です。

寝たきりになる原因で最も

高齢になってから

腰が痛むというのは自覚でき

重いものを持つとき、

背中や

例えば、立ち上がるときや